

JA 共済の
地域貢献活動 2013



全国共済農業協同組合連合会 (JA共済連)

〒102-8630 東京都千代田区平河町2-7-9 JA共済ビル
TEL.03-5215-9160 (地域活動支援部)

<http://social.ja-kyosai.or.jp>



JA 共済は、「安心」と「信頼」で、
地域をつなぎます。

「JA共済の地域貢献活動2013」をお届けいたします。

日頃よりJA共済事業をお引き立ていただき、
厚くお礼申し上げます。

おかげさまで多くの方々にご利用いただき、平成
24年度は3兆4,066億円もの満期共済金・事故共
済金をお支払いし、組合員・利用者の皆さまにお役
立ていただくことができました。

JA共済の事業理念「相互扶助(助け合い)」

日本の農村では、古くから共同体をつくり、お互
いに支え合い、助け合って暮らしを営んできました。
日常の農作業はもちろん、自然災害や火事な
どの災害時には、共同体全体で救済・援助を行いま
した。そうした歴史を背景に、農家組合員が協力作
して農業生産力の増進と経済的・社会的地位の向上
を図ること、そして、協同による事業活動を通じて、
農家組合員の幸福と利益を実現することを目的に
「農業協同組合(JA)」は生まれました。

JA共済は、農業協同組合が理念とする相互扶助
(助け合い)を事業活動の原点として、事業開始よ
り60年余、幸せの輪を広げるべく事業活動を展開
してまいりました。

これからも、人間性の尊重や地域社会づくり、そ

して地域に暮らす人びとの絆づくりを大切にしながら、
共済事業と地域貢献活動の積極的な取り組み
を通じて、豊かで安心して暮らすことのできる地域
社会づくりに貢献してまいります。

本誌をご覧ください、JA共済に対するより一層
のご理解を賜りますようお願い申し上げます。



●経営管理委員会会長
安田 舜一郎

●代表理事理事長
横井 義則

ごあいさつ	1	高齢者・障がい者福祉活動	
コンテンツ	2	高齢者集団保養検診	13
はじめに	3	介護福祉士養成奨学金・助成金	13
		身体障がい者ホームヘルパー・介護職員養成助成	13
		在宅介護施設建設資金助成	13
		介護機器等購入費用助成	13
		宿泊保養施設運営	
		宿泊保養施設運営	14
		災害救援活動	
		仮設住宅・災害シート	15
		文化支援活動	
		「書道」「交通安全ポスター」コンクール	16
		環境保全活動	
		CO ₂ 削減への取り組み	17
		リボンキャンペーン	17
		Comments	18
		(福井県立大学 経済学部教授/北川 太一氏)	
		都道府県独自の地域貢献活動実施概要	19
		健康管理・増進活動	
		笑い与健康教室	11
		レインボー体操	11
		健康・介護ほっとライン	12
		健康診断・人間ドック助成	12
		交通事故対策活動	
		〈幼児向け〉	
		交通安全教室	6
		JA共済アンパンマン交通安全キャラバン	6
		〈生徒向け〉	
		自転車交通安全教室	7
		〈児童・生徒向け〉	
		交通安全教育支援	7
		〈高齢者向け〉	
		交通安全教室	8
		安全運転診断	8
		介助犬の育成・普及支援活動	9
		リハビリテーション	9
		各種団体への支援等	10

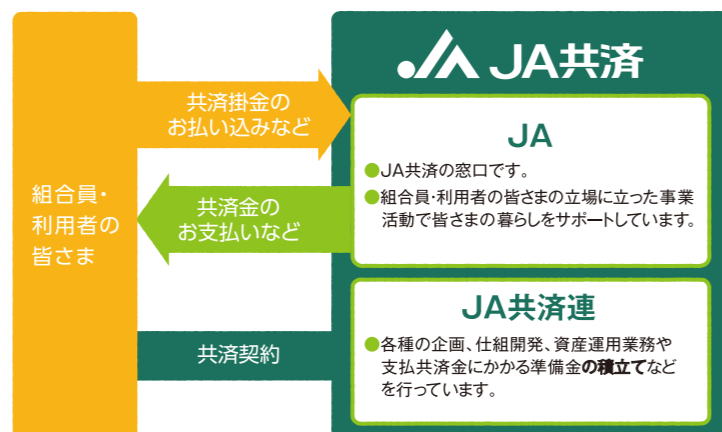


地域の皆さまが、健康で安心して暮らせる環境づくりを。

JA共済は、組合員・利用者の皆さまへ最良の「安心」と「満足」を提供することを使命とし、これまで皆さまに支えられながら日本でも屈指の事業規模を確保するまでに成長しました。

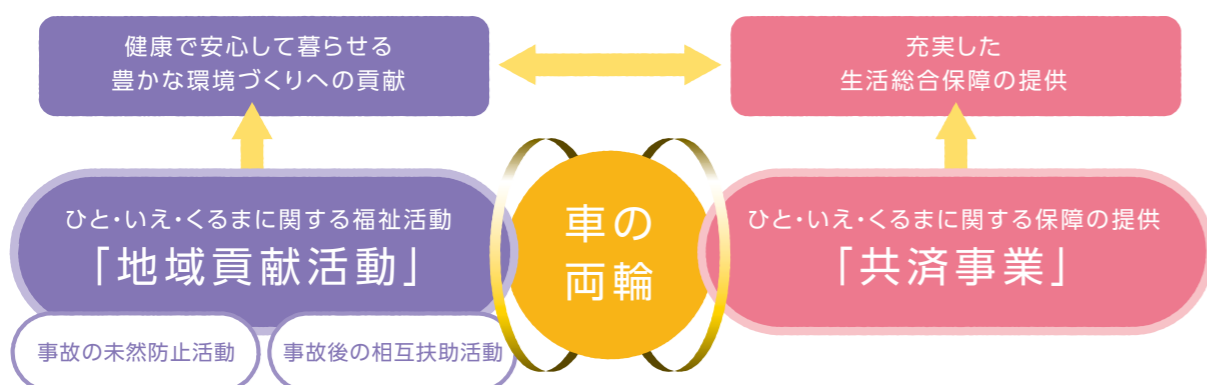
JA共済が実施する共済事業（保障提供）と地域貢献活動は車の両輪の関係にあり、相互に機能することにより「ひと・いえ・くるま」の生活総合保障と事故の未然防止・事故後の相互扶助活動による安全・安心の輪を広げました。JA共済は、今後も共済事業と地域貢献活動を通じて地域との絆を強化し、組合員・地域住民の皆さまが住み慣れた地域で健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献していきたいと考えています。

JA共済の役割と事業実施のかたち



- JA共済は、JAの行うさまざまな事業の一環として、組合員・利用者の皆さまと共済契約を締結することによって、「ひと・いえ・くるまの総合保障」を提供しています。
- JAとJA共済連は、共同で共済契約を締結し、それぞれの役割を担いながら、一体となって保障提供を行っています。

JA共済の取り組み



共済事業

「ひと・いえ・くるま」の総合保障の提供を通じて、組合員・利用者の皆さまの豊かな生活づくりに努めます。

ひと・いえ・くるま、大きく広がった保障の輪 (平成24年度 事業概要)



万一の保障はもちろん、医療保障も充実している**生命総合共済**

生命総合共済(保有)
加入件数：**2,010万件** 保障金額：**152兆1,658億円**



地震を含む自然災害や火災などの幅広い保障で**マイホームを守る建物更生共済**

建物更生共済(保有)
加入件数：**1,069万件** 保障金額：**145兆1,535億円**



確かな保障と充実したサービスの**自動車共済・自賠償共済**

自動車共済(保有) 加入件数：**844万件**
自賠償共済(保有) 加入台数：**703万台**

お役に立った共済金

万一のときや満期のときなどに共済金をお支払いし、皆さまにお役立ていただいています。

平成24年度にお支払いした共済金

3兆4,066億円

内訳

生命総合共済	
万一のお支払い	5,516億円
満期等のお支払い	1兆5,426億円
建物更生共済	
万一のお支払い	1,683億円
満期等のお支払い	8,112億円
自動車共済	2,196億円
自賠償共済	408億円
その他共済	721億円

自然災害にも確かな保障

巨大災害などのリスクに確実に備えるため、異常危険準備金の積立てを行うとともに、海外への再保険も行っています。

平成24年度の主な自然災害に対する建物更生共済のお支払い

平成24年4月 低気圧(秋田・山形ほか)
45,302件 / 150億円

平成24年6月 台風4号および梅雨前線(福岡・熊本ほか)
19,944件 / 159億円

過去の主な自然災害に対する建物更生共済のお支払い(平成7年以降)

平成7年1月:阪神・淡路大震災(兵庫・大阪・京都ほか)
101,535件 / 1,188億円

平成11年9月:台風18号(熊本・山口・鹿児島ほか)
180,030件 / 638億円

平成16年9月:台風18号(山口・熊本・福岡ほか)
284,560件 / 1,083億円

平成16年10月:新潟県中越地震(新潟・群馬・福島ほか)
87,652件 / 773億円

平成23年3月:東日本大震災(宮城・福島・岩手ほか)
661,014件 / 9,037億円

地域貢献活動

「事故の未然防止活動」と「事故後の相互扶助活動」を通じて組合員・利用者の皆さまが健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献します。

1 交通事故対策活動

- 交通安全教室
- ドライビングシミュレーター
- 警察等と連携した交通事故対策活動
- 自転車事故防止対策
- 介助犬の育成・普及支援
- リハビリテーションセンターの開設
- 各種交通事故対策活動
- 各種団体への支援等



2 健康管理・増進活動

- 笑いと健康教室
- レインボー体操
- 健康・介護ほっとライン
- 健康診断・人間ドック助成



3 高齢者・障がい者福祉活動

- 高齢者・障がい者福祉活動助成
- 高齢者集団保養検診

4 宿泊保養施設運営



5 災害救援活動

- 仮設住宅貸与制度
- 災害シートサービス



6 文化支援活動

- 小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール



7 環境保全活動

- CO₂削減への取り組み
- リボンキャンペーン



01 交通安全教室 幼児向け

交通事故を防ぐために

親子の交通安全ミュージカル「魔法園児 マモルワタル」
楽しい歌と踊りで交通ルールを学びます

就学前の幼稚園・保育園児と保護者を対象とした、ミュージカル形式の交通安全教室を全国各地で実施しています。このミュージカルは、舞台の上の横断歩道で園児が実際に体験できるなど、客席の園児、保護者の皆さんと舞台がひとつになって、楽しみながら交通ルールを学べる構成となっています。

- 園児たちの歌声が響き、会場は毎回盛況です。



- 保護者の方々・先生の声

■ マモルワタルのキャラクターがすごくかわいく、ダンスもあり安全な横断歩道の渡り方も楽しく覚えられました。園に帰ってもみんな練習します。

■ 大人も楽しく見ることができました。大切な子どもたちの命を守るためにも、もっと多くの人に見てもらいたいと思いました。



ミュージカルを観た全国各地の子どもたちから寄せられた似顔絵や手紙



あらすじ

魔法界のマモルワタルは、いつも元気に飛び回っている魔法幼稚園のワンパク園児。あまりのワンパクさに魔法幼稚園の園長先生から人間界へ修行に送られます。そこで、園児スナオ君と警察官のお姉さんに助けられ、横断歩道の渡り方や信号機の意味など、交通ルールを学んでいきます……。

● 後援: 内閣府/警察庁/国土交通省
● 推薦: 一般財団法人 全日本交通安全協会

「交通安全ミュージカル」の実施規模

累計動員数 **20万人以上**

平成16年度から実施している「交通安全ミュージカル」。平成24年度は全国で37回、654の幼稚園・保育園を招待し、22,265名の園児・保護者の皆さんに交通ルールについて楽しく学んでいただきました。これまでに20万人以上を動員しています。

02 JA共済アンパンマン交通安全キャラバン 幼児向け

交通事故を防ぐために

「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」が全国を巡回し、楽しいショーを通じて幼児に交通ルールを伝えます

小さなお子さまに絶大な人気を誇るJA共済のイメージキャラクター「それいけ!アンパンマン」。荷台部分がステージになるキャラバンカーで全国を巡回して行うステージショーは幼児や保護者に好評です。ショーを通じて交通安全を呼びかけ、親子で交通安全について考える時間を提供しています。



赤・青・黄色のキャラバンカーがとても目をひきます。

- 来場者の方々の声

■ アンパンマンたちと一緒に、親子で楽しく交通安全ルールが学べて良かったです。

■ ダンスや歌があって、小さい子どもでも飽きないで見ることができました。

■ ショーの後にアンパンマンとの握手会があり、子どもも喜んでいました。



監修: 一般財団法人 日本交通安全教育普及協会



「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」の実施規模

累計動員数 **45万人以上**

平成22年度から実施している「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」。平成24年度は全国199会場、175,854名の皆さんに交通安全を呼びかけました。これまでに45万人以上を動員しています。

03 交通事故を防ぐために 自転車交通安全教室 生徒向け

警察等と連携した交通事故対策活動

中学校や高等学校で行われる交通安全教室の際、危険な自転車走行に伴う交通事故の実演(スタントマン)により、生徒に危険性を疑似体験させる教育事業(スケアード・ストレイト教育技法)の推進を支援しています。



巻き込み事故再現

●参加した生徒・先生の声

- 自転車が被害者になるだけでなく、加害者にもなることがあるということが一番印象的でした。(生徒)
- 事故の恐ろしさを知ったので、これからは交通ルールをしっかり守って自転車に乗りたいと思います。(生徒)
- これまでの交通安全教室と違い、生徒が真剣な眼差しでした。(教諭)

「自転車交通安全教室」の実施規模

累計動員数 **22万人以上**

平成21年度から実施している「自転車交通安全教室」。平成24年度は全国で176回、93,589名の皆さんが参加しました。これまでに22万人以上を動員しています。

04 交通事故を防ぐために 交通安全教育支援 児童・生徒向け

交通安全教育DVDの無償ダウンロード

子どもたちの交通事故を防ぐためには、交通ルールの大切さを理解し、交通安全に対する意識を高める取り組みが欠かせません。そこでJA共済では、全国の小・中・高等学校に無償配布した小学生向け、中学生・高校生向けの「交通安全教育DVD」をホームページから無償でダウンロードができるようにしています。



05 交通事故を防ぐために 交通安全教室 高齢者向け

落語を取り入れた交通安全教室を開催 全国の高齢者の方々に好評です

事故のおよそ半数を占める高齢者の交通事故をなくすために、高齢者向け交通安全教室を開催しています。JA共済オリジナルの「交通安全落語」で笑いながら交通安全の意識を高め、「レインボー体操」で身体機能の低下を予防。誰でも楽しく参加できる内容になっています。



(平成25年8月現在)

●体操で体を動かし、落語で笑い、心も体もリラックス! 参加した方々からたくさんの感想をいただきました!

- 笑いが多く楽しい日になりました。たいへん有意義な催しでした。今後も事故防止の企画をお願いします。
- 交通安全の大切さを再認識した。自分の住む地域から交通事故を絶対に出さないように心がけたいと思います。



交通安全教室のプログラム

- (所要時間: 90分※) ※実施時間の目安です。
- 交通安全講話 15分
地域の警察、交通安全協会の方等による講話
 - 身体機能の衰えに関するビデオ上映 15分
加齢に伴う身体機能の衰えに関するビデオ
 - 敏捷性測定 10分
「にぎるくん」を使った敏捷性測定
 - 交通安全体操 15分
加齢に伴う身体機能の低下を予防する「交通安全レインボー体操」
 - 交通安全落語 30分
落語を通して、自分の危険行動を認識し楽しく交通安全を啓発

「高齢者向け交通安全教室」の実施規模

累計動員数 **19万人以上**

平成17年度から実施している「高齢者向け交通安全教室」。平成24年度は全国で175回、19,511名の皆さんに交通安全落語を楽しんでいただきました。これまでに19万人以上を動員しています。

06 交通事故を防ぐために 安全運転診断 高齢者向け

ドライビングシミュレーター搭載車両「きずな号」で安全運転をチェック

高齢ドライバーの交通事故を防ぐために、JA共済では、ドライビングシミュレーター搭載車両「きずな号」を全国7か所に配置し、巡回型の安全運転診断を行っています。過去の事例を参考に、事故を起こしやすい場面を再現したドライビングシミュレーターを使い、約5分間の講習で運転診断と安全運転のアドバイスが受けられる内容となっています。



●参加した方々の声

- 交通事故の発生パターンを具体的に体験できたので良かったです。
- 自分では運転に自信がと思っていたが、診断を参考に安全運転に努めたい。
- 年をとると判断が鈍くなるのはやむを得ないが、自分の今を知るのにとっても良い機会でした。



ドライビングシミュレーター

自分では気づけなかった「うっかりミス」や運転の癖など、事故を起こしやすいところを認識することで、日頃の運転を見直し、安全運転を心掛けることができます。

「ドライビングシミュレーター」の実施規模

累計回数 **1,707回**

平成20年度から取り組んでいる「ドライビングシミュレーター」。平成24年度は全国で278回実施しました。これまでに1,700回以上実施。多くの方々の運転診断を行っています。

07 交通事故被害者の自立支援のために 介助犬の育成・普及支援活動

「介助犬」の育成・普及支援を通じて
交通事故被害者の社会復帰を応援しています

介助犬とは、交通事故などにより手足に障がいのある方の日常生活をお手伝いする犬のことです。JA共済では、介助犬の育成・普及支援に取り組み、介助犬の受入れに対する理解を促進するため、介助犬によるデモンストレーションやJA共済が企画・制作した介助犬の絵本の読み聞かせによる活動を通じ、障がい者の方の自立と社会復帰を支援しています。

●介助犬とは？

介助犬とは、身体の不自由な方の手助けをするために特別なトレーニングを積んだ犬のことをいいます。盲導犬が目の不自由な方の目となって障害物や曲がり角の存在を知らせるように、介助犬は肢体不自由者の手足となり、物を拾ったりドアを開閉したりして日常生活における動作を補助します。「身体障害者補助犬法」により補助犬(介助犬、聴導犬、盲導犬)が公共の施設や交通機関に同伴立ち入りができるようになり、デパートやホテル、飲食店などの一般施設でも受入れが義務化されています。

●介助犬のいろいろな仕事



靴下を脱がせる



冷蔵庫からペットボトルを持ってくる



新聞を持ってくる

写真提供：NPO法人 日本介助犬アカデミー・社会福祉法人 日本介助犬協会

介助犬デモンストレーション
「ガンバレ! 介助犬! JA共済はたらくワンワンランド!」



●後援:厚生労働省

●絵本
「世界でいちばん幸せな犬」
「ハナちゃんの帽子」



08 交通事故被害者の社会復帰のために リハビリテーション

2つのリハビリテーションセンターで交通事故被害者
などの社会復帰をお手伝いしています

JA共済のリハビリテーションセンターは、静岡県中伊豆と大分県別府にあります。これら2つのリハビリテーションセンターは、「病院」「福祉施設」「介護施設」の3つの機能を持った全国でも数少ない総合型の施設です。昭和48年の設立以来、「身体障がい者のしあわせ」と「福祉社会の建設に寄与すること」を理念として交通事故被害者などの社会復帰をお手伝いしています。



農協共済 中伊豆リハビリテーションセンター

- 敷地面積/162,613m²
- 建物床面積/25,332m²
- 利用定員/障がい者支援施設140名、
病院(回復期リハ病棟)110床、
障がい者短期入所事業7名、
障がい福祉サービス事業所20名(通所)、
通所リハビリテーション事業100名
- 職員数/346人

入所・入院の
お問い合わせ先 静岡県伊豆市冷川1523-108
電話:(0558)83-2111



農協共済 別府リハビリテーションセンター

- 敷地面積/151,984m²
- 建物床面積/40,644m²
- 利用定員/障がい者支援施設80名、
病院(回復期リハ病棟)116床、
福祉ホーム5名、
障がい福祉サービス事業所40名(通所)、
通所リハビリテーション事業120名
- 職員数/298人

入所・入院の
お問い合わせ先 大分県別府市鶴見1026-10
電話:(0977)67-1711

09 交通事故被害者の社会復帰のために 各種団体への支援等

各種団体への支援等を通じた
地域貢献活動に取り組んでいます

JA関連医療機関の救急医療およびリハビリ医療の充実を図ることにより、交通事故被害者の救命や交通事故障がい者の社会復帰の支援を行っています。このほか交通事故の対策としてカーブミラーの設置、救急車の寄贈など、さまざまな支援活動を実施しています。

また、ドクターヘリの普及促進支援も実施しています。東日本大震災では、全国から集結したドクターヘリが、孤立した病院の患者の救出など、被災者救援に貢献しました。



自賠責共済運用益事業について

JA共済は、自賠責共済事業から生じた運用益を自動車事故防止対策、救急医療体制の整備、自動車事故被害者対策等に活用しています。

自賠責共済運用益

自賠責共済の掛金は、共済掛金の収入と共済金のお支払いの間に、一定期間の時差があり、この間JA共済には一定の資金が滞留します。

この滞留資金を運用して得られた利息を自賠責共済運用益と呼んでいます。自賠責共済はノーロス・ノープロフィットの原則に基づいて運営されていることから、JA共済では、法令に従い、この運用益全額を他の資金と区分して、準備金として積み立てています。

自賠責共済運用益拠出事業

自賠責共済運用益の用途については、将来の自賠責共済の収支改善のための財源とするほか、自動車事故防止対策、救急医療体制の整備、自動車事故被害者救済等に必要の費用など、被害者保護の増進に資する施策に活用できるとされており(自賠法28条の3)、この運用益を活用した事業を自賠責共済運用益拠出事業と呼んでいます。

10 ずっと健康であるために 笑い与健康教室

「笑い」の効果と仕組みを学んで体験するプログラム
楽しみながら健康づくりができる教室です

「笑い」が心や体によいということは医学的にも証明されつつあり、最近では病気の予防や治療においても注目されています。JA共済では、健康増進活動のひとつとして「笑い与健康」の關係に着目したプログラムを開発し、「笑い」の効果とその仕組みについて学び、実際に体験する「笑い与健康教室」を実施しています。



「笑い与健康教室」の実施規模

過去6年間の参加人数
6万2千人以上

平成19年度から実施している「笑い与健康教室」。平成24年度は全国で140回実施し、8,968名を動員しました。これまでに940回実施し、6万2千人以上の皆さんが笑顔で参加しました。



●教室の主な内容

- 笑い与健康DVD(視聴)
- Oh! 笑い体操
- 笑い与健康ゲーム
- 落語(DVD)
- 笑いヨガ

(笑い与健康教室DVDより)

11 ずっと健康であるために レインボー体操

簡単な動きで構成されていて、立っただけでも、座ったままでも、寝ていてもでき、いつでも、どこでも、どなたにでもできる体操です

JA共済のレインボー体操は、昭和58年にJA女性組織の皆さんの健康づくりのために開発された体操です。考案者の二村ヤソ子先生のリハビリ体験から生まれた体操で、体力に自信のない方、高齢の方にも安全で無理なく楽しく続けられます。

心臓に負担をかけないやさしい動きで全身の血液の流れがよくなり、「肩こり・腰痛の解消」「生活習慣病予防」「老化防止」「リフレッシュ」に効果が期待できます。

見ながら体操ができるDVDやさまざまな資料を提供しています。



「レインボー体操」の実施規模

過去30年間の参加人数
62万人以上

昭和58年度から実施している「レインボー体操」。平成24年度は全国で11,434回実施しました。これまでに62万人以上の皆さんが参加しました。



12 ずっと健康であるために 健康・介護ほっとライン

健康・介護ほっとラインは、これまで6万4千人以上の方
にご活用いただいています

健康や介護、育児についての悩みごと、気になることを看護師や介護支援専門員、医師、栄養士などが直接電話でお答えする電話相談サービスです。健康診断の結果等の疑問から、介護・育児についてのお困りのことなど、お気軽にご利用ください。全国どこからでも24時間・365日、無料でご利用いただけます。



「健康・介護ほっとライン」の相談コール本数

これまでの利用人数 **6万4千人以上**

平成24年度の相談コール本数は5,330件あり、これまでに6万4千人以上の方が利用しています。

13 ずっと健康であるために 健康診断・人間ドック助成

健康を願う方々のお手伝い
毎年たくさんの方々に助成しています

JA共済では、高まる健康意識に応じて、健康管理・増進を目的としたさまざまな福祉活動を行っています。共済加入者とそのご家族には、健康管理・維持のために、健康管理に不可欠な各種の健康診断や人間ドック受診の助成を行っています。



「人間ドック・健康診断」の実施規模

過去の実施人数
人間ドック **214万人以上**
健康診断 **2,736万人以上**

平成24年度の人間ドック助成人数は48,881名、健康診断は、170,037名の受診助成を行いました。

※累計は昭和50年度より

14 いつまでも安心して暮らすために 高齢者集団保養検診

JA共済では、農村の高齢化の進展に伴い、高齢者を対象に、保養施設などを利用して保養しながら健康診断を受ける、高齢者集団保養検診を実施しています

「高齢者集団保養検診」の実施規模

過去37年間の受診者数 **199万人以上**

平成24年度の受診者数は15,654名、これまでに199万人以上の皆さんが受診しています。

※累計は昭和50年度より

15 いつまでも安心して暮らすために 介護福祉士養成 奨学金・助成金

介護福祉士をめざしている方を支援しています

「介護福祉士養成奨学金・助成金」の助成人数

これまでの助成人数 **308人**

平成6年度から実施している「介護福祉士養成奨学金・助成金制度」。平成24年度は全国で43人の方が、これまでに308人の方が奨学金・助成金を受けています。

●平成25年度から「介護福祉士養成奨学金制度」に変更

16 いつまでも安心して暮らすために 身体障がい者ホームヘルパー・介護職員養成助成

身体障がい者ホームヘルパー・介護職員養成研修会を終了した方に研修費用を助成しています

「身体障がい者ホームヘルパー・介護職員養成」の助成人数

これまでの助成人数 **36,656人**

平成6年度から実施している「身体障がい者ホームヘルパー・介護職員養成助成制度」。平成24年度は全国で313人の方が、これまでに36,656人の方が助成金を受けています。

●平成25年度から「介護人材育成奨励金制度」に変更

17 いつまでも安心して暮らすために 在宅介護施設建設資金助成

JAが在宅介護施設を設置する場合の建設資金を助成しています

「在宅介護施設建設資金」の助成施設数

これまでの助成施設数 **242施設**

平成7年度から実施している「在宅介護施設建設資金助成制度」。平成24年度は全国で21施設、これまでに242施設が助成を受けています。

18 いつまでも安心して暮らすために 介護機器等購入費用助成

JAが在宅サービスを実施するために介護機器等を購入する際の費用を助成しています

「介護機器等購入費用」の助成施設数

これまでの助成施設数 **267施設**

平成7年度から実施している「介護機器等購入費用助成制度」。平成24年度は全国で19施設、これまでに267施設が助成を受けています。

19 契約者・組合員の健康管理・増進活動のために 宿泊保養施設運営

JA共済グループでは、「契約者サービス」および「組合員に対する健康管理・増進活動への支援機能」として、宿泊保養施設を運営しています

■ 宿泊保養施設一覧

1 福島 奥飯坂 「摺上亭大島」 〒960-0201 福島県福島市 飯坂町字中ノ内24-3 TEL.024-542-4184 客室数:59室	5 新潟 鶴の浜温泉 「鶴の浜ニューホテル」 〒949-3101 新潟県上越市 大瀧区雁子浜304 TEL.025-534-2622 客室数:36室
2 神奈川 中川温泉郷 「あしがら荘」 〒258-0201 神奈川県足柄上郡 山北町中川448-2 TEL.0465-78-3621 客室数:21室	6 富山 雨晴温泉 「磯はなび」 〒933-0133 富山県 高岡市太田88-1 TEL.0766-44-6161 客室数:50室
3 長野 黒姫温泉 「ホテルアスティくろひめ」 〒389-1303 長野県上水内郡信濃町 野尻3884-298 TEL.026-255-3181 客室数:35室	7 石川 崇山温泉 「ホテル翠湖」 〒922-0402 石川県 加賀市崇山町し50 TEL.0761-74-5588 客室数:21室
4 長野 天徳温泉 「アスティかたおか」 〒399-0711 長野県塩尻市片丘字 東山9215-1401 TEL.0263-52-7600 客室数:26室	8 愛知 三河湾三ヶ根山 「グリーンホテル三ヶ根」 〒444-0701 愛知県西尾市東幡豆町 入会山1-287 TEL.0563-62-4111 客室数:61室
9 兵庫 城崎温泉 「あざぎり荘」 〒669-6101 兵庫県豊岡市 城崎町湯島876 TEL.0796-32-2921 客室数:35室	10 和歌山 南紀白浜温泉 「癒しの宿 クアハウス白浜」 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡 白浜町3102 TEL.0739-42-4175 客室数:42室
11 鳥取 鳥取温泉 「ホテルモナーク鳥取」 〒680-0834 鳥取県鳥取市 永楽温泉町403 TEL.0857-20-0101 客室数:116室	12 鳥取 はわい温泉 「羽衣」 〒682-0715 鳥取県東伯郡湯梨浜町 はわい温泉21-1 TEL.0858-35-3621 客室数:25室
13 島根 玉造温泉 「ホテル玉泉」 〒699-0201 島根県松江市 玉造町玉造53-2 TEL.0852-62-0021 客室数:121室	14 佐賀 武雄温泉 「ホテル春慶屋」 〒843-0022 佐賀県武雄市 武雄町大字武雄7407 TEL.0954-22-2101 客室数:24室
15 宮崎 日南海岸青島温泉 「青島サンクマール」 〒889-2164 宮崎県宮崎市 折生追7408 TEL.0985-55-4390 客室数:40室	

※ 3 4 10 の3施設は、JA共済連の子会社以外の関係団体が運営している施設です。

20 災害にあわれた方々のために 仮設住宅・災害シート

共済金のお支払いのほかにも
災害にあわれた方々への支援に取り組んでいます

JA共済のご契約者のお住まいが、台風などの自然災害や火災等で壊れて住めなくなってしまったときに「仮設住宅」を8か月間無償でお貸ししたり、台風などの自然災害で壊れてしまったときに「災害シート」を無償でお配りするサービスを提供しています。これらのサービスを通じて、ご契約者とそのご家族の災害からの生活の立て直しをサポートしています。



JA共済仮設住宅貸与サービス

仮設住宅を8か月間無償でお貸しするサービスです。住宅だけでなくキッチン、トイレ、お風呂など暮らしに必要な設備をあらかじめ備えています。



JA共済災害シートサービス

大規模災害時等にJA共済災害シートを無償でお配りするサービスです。
(大きさ:3.6m×5.4m(12畳))

「仮設住宅」の貸与棟数

これまでの貸与棟数
1,900棟以上

平成24年度は82棟をお貸ししました。

「災害シート」の配布枚数

これまでの配布枚数 **17万枚以上**

平成24年度は9,478枚をお配りしました。

※国や自治体が主体となって被災者救済を行う地震や台風などの大規模災害の場合は、対応できないことがあります。

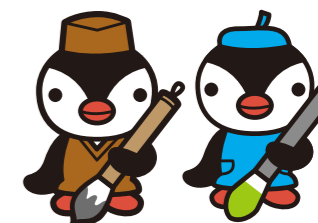
※JA共済のご契約者で一定の要件を満たす方に限ります。

地域社会との絆を深めるために

21 「書道」「交通安全ポスター」コンクール

立派な作品がたくさん寄せられ
日本でも最大規模のコンクールになっています

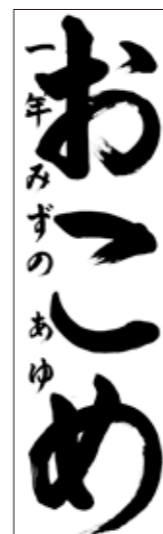
JA共済では、心の豊かさ、地域社会との絆づくりを大切にするとともに、JA共済の理念である助け合いの精神を次世代に伝えるため、小・中学生書道・交通安全ポスターのコンクールを実施しています。



©2006 JA-KYOSAI

JA共済全国小・中学生書道コンクール

小・中学生の皆さんを対象にした全国規模の書道コンクールです。共済事業の「相互扶助・思いやりの精神」を次代に伝えていくこと、そして児童・生徒の書写教育に貢献することを目的に書道コンクールを実施しています。毎回、大人も顔負けの力作が集まります。



農林水産大臣賞
みずの あゆみさん
(奈良県・小学1年)



文部科学大臣奨励賞
池田 紗希さん(千葉県・小学5年)



農林水産大臣賞
佐藤 日香さん(青森県・中学1年)



文部科学大臣奨励賞
藤枝 琳さん(愛媛県・小学6年)

JA共済全国小・中学生交通安全ポスターコンクール

小・中学生の皆さんを対象にした交通安全ポスターコンクールです。図画工作・美術教育の発展と、交通安全の大切さを幅広く社会に訴えることを目的に交通安全ポスターコンクールを実施しています。こどもたちの願いが込められた作品は、心にひびく秀作ぞろいです。



内閣府
特命担当大臣賞
下平 幸歩さん
(青森県・小学6年)



農林水産大臣賞
奥村 直さん
(長野県・小学3年)



警察庁長官賞
井上 舞香さん
(岡山県・中学3年)



文部科学大臣
奨励賞
山王 陽斗さん
(徳島県・小学1年)

「小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール」応募点数

これまでの応募点数
書道 **4,900万点以上**

交通安全ポスター **820万点以上**

平成24年度書道コンクールは56回目を迎え、1,477,560点の応募があり、交通安全ポスターコンクールは41回目を迎え、164,376点の応募がありました。質・量ともにわが国屈指のコンクールに成長しました。



北川 太一

Taichi Kitagawa

(福岡県立大学 経済学部教授)

1959年 兵庫県生まれ
 1990年 京都大学大学院農学研究科博士課程研究指導認定
 福井県立大学経済・経営学研究所(准教授)などを経て、2008年4月より現職
 専門分野：農業経済学、協同組合論
 主な著書：『農業・むら・くらしの再生をめざす集落型農業法人』（編著）など。
 日本農業経済学会常務理事、日本協同組合学会・理事。

2012年国際協同組合年のスローガンは、「協同組合がよりよい社会を築きます」であった。

これは現代社会において、公益の組織としての協同組合が「真摯な」活動を展開することで豊かな地域社会づくり(公益)を実現することが重要であり、それが協同組合の社会的な認知を一層促進していくと考えられたからである。

東日本大震災を契機に、絆という言葉に関心が集まり、人と人がつながって助け合うことの大切さや、私たちが暮らす地域社会(コミュニティ)を豊かに育むことの重要性が再認識されつつある。実際、被災地の現場では被災者を支えるために、JA共済をはじめとしてさまざまな協同組合の活動が貢献し、協同のネットワークが大きな力を発揮した。

しかし、一方では大災害に乗じて急進的に農林漁業や地域経済を変革させようとする動きも強まっており、協同組合が有する「総合性」に対する解体要請や、一人一票制廃止の主張など、協同組合の根幹を揺さぶるような論も後を絶たない状況にある。

こうした状況を考えると、協同の受け皿として協同組合という仕組みが有効に働くかどうかは、協同組合が地域社会にどれだけ関与できるか、そのことによって社会的な認知をいかにして高めることができるか、という点が極めて重要になる。

そこで今日、JA共済に期待することは次の諸点である。

一つは、協同組合が共済事業に取り組むことの意義を、その歴史も含めてより積極的に広報・啓発してほしいということである。

ともに助け合うことを理念(相互扶助)とするJAの共済事業は、ある意味最も協同組合らしい事業であり、一般の企業が展開する保険業務とはひと味もふた味も違うはずである。

そのため、JA共済の地域貢献活動を通じて、人と人が助け合って生きていくことの素晴らしさ、一人ひとりの小さな掛金が、万人の大きな幸せにつながっていくことの大切さを粘り強く訴えてほしい。

二つは、あくまで現場、とりわけJAの主体性を尊重した地域貢献活動の展開である。

一人ひとりの顔や性格が異なるように、それぞれの地域には固有の文化があり、歴史があり、風土がある。JA共済は、地域の現場で奮闘する人たちの声に耳を傾け、話し合い、その上でそれぞれの地域にあった貢献活動を積極的に応援してほしい。

三つは、地域の発展のために活動する他の団体や行政との連携も視野に入れた地域貢献活動の推進である。

東日本大震災の被災地支援において協同組合のネットワークが力を発揮し、国際協同組合年における活動を通じて多様な協同組合が同じテーブルに着き、お互いを理解し合い、連携した活動が始まろうとしている。こうした協同組合間協同の機運を一過性のものにしてはならない。

ポスト国際協同組合年にどう取り組むか。協同組合の真価が問われている。そしてその鍵は、地域社会と強く結びついた協同組合の姿が実現するかどうかにかかっていると思われる。JA共済の地域貢献活動に、大いに期待したい。

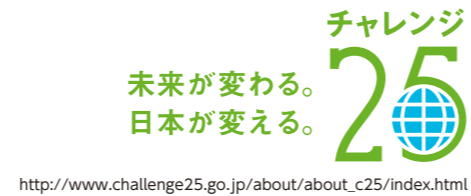
22

地球環境を守るために

CO₂削減への取り組み

地球温暖化防止のための新たな「国民運動」
「チャレンジ25」に取り組んでいます

2005年2月16日に「京都議定書」が発効し、日本は2008年から2012年の間にCO₂などの温室効果ガス排出量を1990年に比べて6%削減することが義務づけられ、さまざまな対策を進めてきました。2009年9月、ニューヨークの国連気候変動サミットにおいて、わが国の目標として、温室効果ガス排出量を2020年までに1990年比で25%削減することが表明されました。「チャレンジ25キャンペーン」は、これまでの地球温暖化防止のための国民運動「チーム・マイナス6%」から、よりCO₂削減に向けた運動へと生まれ変わり展開するものです。JA共済でもこの運動に参加して、全職員・職場で運動に取り組む、また組合員の方や地域の方々へのPR活動を展開していきます。



http://www.challenge25.go.jp/about/about_c25/index.html



チャレンジ25キャンペーンが推進する6つのチャレンジ

- ☆☆☆ 1世帯で1年間で千kg以上CO₂を削減
- ☆☆ 1世帯で1年間で百~千kg以上CO₂を削減
- ☆ 1世帯で1年間で数十kg程度CO₂を削減または効果が一定でないもの

Challenge1
- エコな生活スタイルを選択しよう -

例えば、クールビズ、ウォームビズ、MYバッグ、... etc. あなたもきつと、温暖化防止のECOアクションをはじめませんか?

出かける際はバスや電車、自転車など環境に優しい交通機関を利用しよう

☆☆☆

Challenge2
- 省エネ製品を選択しよう -

購入時に迷ったときは、より「エネルギー効率の高い製品」を選択! これが温暖化防止「チャンジヤー」たちの新常識です。

白熱電球を電球型蛍光灯やLED照明へ買い替えよう

☆☆☆

Challenge3
- 自然を利用したエネルギーを選択しよう -

太陽。風。水。
自然界に存在する力を利用することは、温暖化をとめる方法の一つです。

太陽光発電を新しく設置しよう

☆☆☆

Challenge4
- ビル・住宅のエコ化を選択しよう -

心地よい快適な空間をつくるのが、実はエコなんて?! そんな夢のような温暖化をとめる方法があるって、ご存知ですか?

最新の省エネ基準を満たす断熱材やエコガラスを取り入れよう

☆☆☆

Challenge5
- CO₂削減につながる取り組みを応援しよう -

CO₂削減につながる、さまざまな社会の取り組みを知ってください。そしてこの温暖化防止の心強い取り組みを応援してください。

地産地消の商品を選択しよう

☆☆

Challenge6
- 地域で取り組む温暖化防止活動に参加しよう -

温暖化は一人の問題ではなく、この地球に住む私たち「みんなの問題」。仲間や地域の人たちとともに、温暖化防止にチャレンジしましょう。

地域の環境イベントに積極的に参加しよう

☆☆

23

地球環境を守るために

リボンキャンペーン

クルマの部品補修&リサイクルのためのリボンキャンペーンを実施しています

産業廃棄物が大きな問題となっています。JA共済では資源の有効活用や地球環境保護の観点から「補修できるものはなおして使い、補修できないものはリサイクル部品を使用する」という運動に一丸となって取り組んでいます。

JA共済では資源の有効活用と地球環境保護を目的とした運動を「リボンキャンペーン」と名づけ、毎年実施しています。この運動では、事故の修理時ばかりではなく、広く一般的な修理や車検のときにも、クルマの損害箇所については新品と交換せず、補修したりリサイクル部品を使っただけのよう啓発活動を行っています。JA自動車共済の年間の共済金支払件数は約68万件、共済金支払総額(車両・対物合計)は1,529億円にも達しています。補修や、リサイクルを活用することは、組合員・利用者の皆さまに今後も安い掛金で安心して加入していただくためにも有効なことです。



都道府県独自の地域貢献活動実施概要

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
北海道	役職員の地域貢献活動	交通安全啓発活動		交通安全運動週間期間中に、街頭でノベルティを配布し交通安全を通行人に対し呼びかける
	その他の活動	次世代対策助成	組合員およびその直系家族	こどもが誕生した場合と児童が小学校に入学した場合に記念品を贈呈
青森	役職員の地域貢献活動	交通安全啓発活動		夏・秋・冬の交通安全運動週間期間中に、街頭でチラシ・ノベルティを配布し交通安全を通行人に対し呼びかける
		交通事故被害者支援募金	交通事故被害者	夏・秋・冬の交通安全運動期間中に街頭キャンペーンと連動し、募金活動を実施。併せて、農協会館内の各団体へ募金箱を設置し募金活動を実施
	その他の活動	環境保全活動		年間を通じてペットボトルのキャップを収集し、関係機関へ送付
岩手	交通安全対策活動	交通安全啓発活動		交通安全意識の啓発と交通事故防止の徹底を図るため、県・県警へ交通安全対策啓発資材の寄贈や広報宣伝を実施
	文化・スポーツ活動	JA共済児童生徒作品コンクール(作文の部・絵画の部)	県内小・中学生	相互扶助・思いやりの精神を次代に伝えていくとともに、図画や作文教育に貢献することを目的にコンクールを実施
		岩手県少年フットサルフェスティバル(協賛)	小学生	交通安全啓蒙活動とJA共済をより広く知ってもらうよう認知度の向上を図る
岩手	役職員の地域貢献活動	環境保全活動		使用済切手、ベルマークを収集し、関係機関へ送付
		交通安全啓発活動		交通安全運動週間期間中に街頭で資材等を配布するなど交通安全を通行人に対し呼びかける
		清掃活動		盛岡市内の庭園や城址公園に隣接する道路等の清掃活動を実施
		災害ボランティア活動		陸前高田市の災害ボランティアとして活動
	その他			少年野球大会の運営サポート
				障がい者スポーツ大会の会場準備
				希少生物(ゼニタナゴ、ドブガイ)の保護活動。里山の環境保全活動
宮城	健康管理・増進活動	健康検診	生命共済の加入者で60歳以上の方	「鳴子観光ホテル」「南三陸ホテル観洋」にて健康検診を実施
	交通安全対策活動	交通安全キャンペーン	一般ドライバー	街頭キャンペーン(運転者・歩行者に対する交通ルールとマナーの周知徹底)や広報宣伝(広報車等による広報宣伝活動)を実施
		交通遺児育成奨学金助成	交通遺児	交通遺児を対象に奨学金を助成
	文化・スポーツ活動	JA共済少年野球大会	県内小学生	相互扶助の事業理念のもと、主催者・参加者が一体となり、野球大会を通じ地域少年の健全育成と交流を図ることで「人と人の絆」を大切に地域社会づくりに貢献する
役職員の地域貢献活動	災害ボランティア活動		東日本大震災農業復興ボランティアとして、瓦礫撤去作業、ほ場整備、農業施設の復旧作業、農業支援などを実施	
秋田	交通安全対策活動	交通安全教室開催助成		JAが関係諸機関・団体と連携して開催
		ソーシャルクロック設置		県内各地域にソーシャルクロックを提供

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
秋田	交通事故対策活動	交通安全教室の開催	保育園児、幼稚園児	ご当地ヒーロー「超神ネイガー」による交通安全教室を開催し、正しい交通ルールとマナーを学ぶ
	文化・スポーツ活動	次世代対策助成		学童野球大会を開催
山形	役職員の地域貢献活動	交通安全啓発活動		秋の全国交通安全運動期間中に県警と連携して、啓蒙活動を実施(チラシ等を配布)
	交通安全対策活動	カーブミラー設置		組合員を交通事故から守り、交通事故の未然防止を目的に市町村に寄贈
		ソーシャルクロック設置		県内各地域にソーシャルクロックを提供
役職員の地域貢献活動	高齢者交通安全教室開催	地域住民	交通安全協会に協賛し開催	
福島	文化・スポーツ活動	JA共済カップ福島県少年サッカー大会	小学生	サッカーを通じ次代を担うこどもたちの心と体の育成を図るとともに、次世代層に対しJA共済の認知度の向上を図る(地元TV局と連携)
		JA共済サッカー教室	小学生	交通安全啓発と地域のこどもたちの健全育成を図る(地元JFLクラブチームと連携)
	健康管理・増進活動	健康管理・増進活動	組合員・地域住民(およびその家族)	(一財)福島県農協共済福祉事業団による健康増進活動(検診・講話等)実施支援(日帰り・1泊2日コース)
	交通安全対策活動(ふくしま交通事故0運動 10アクション・ネオ)	交通安全教室開催支援	園児・小中学生、高齢者	各幼稚園・小中学校、老人会等が開催する交通安全教室の開催支援(機材貸与・資材提供)
		交通安全川柳コンクール	地域住民	作品応募やメディア放送を通じて、県民の交通安全意識を喚起(地元ラジオと連携)
		高校生交通安全CMコンテスト	高校生	CM制作を通して交通安全意識の喚起を図る
	役職員の地域貢献活動	「夢」授業	小学生	交通安全啓発と地域のこどもたちの健全育成を図る(地元JFLクラブチームと連携)
JAグループ統一交通安全キャンペーン			交通安全思想の啓発を通じて事故のない安全な明るい地域社会をつくるため、街頭活動等実施	
環境保全活動			年間を通じてペットボトルのキャップ、使用済切手を収集し、関係機関へ送付	
清掃活動			地元企業との連携による清掃活動・花植え活動および事務所周辺の清掃活動を実施	
茨城	文化・スポーツ活動	JA共済CUP学年別少年サッカー大会	小学生	サッカー大会の実施(茨城県サッカー協会と共催)
		交通安全帽子の配布	小学校新入児童等	交通安全帽子の寄贈
	交通安全対策活動	交通安全宣言書(署名活動)	地域住民とJA、連合会役員	交通事故防止を訴える秋の全国交通安全運動に呼応して、交通安全宣言書を県下JA、関係団体をとおして署名を集める
役職員の地域貢献活動	環境保全活動		年間を通じてペットボトルのキャップを収集し、関係機関へ送付	
	交通安全啓発活動		交通事故の未然防止を目的に、高速道路サービスエリアにて、県警、NEXCO東日本と連携し、チラシ、ノベルティを配布するなど交通安全を呼びかける	
	その他		献血活動を実施	

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
栃木	交通事故対策活動	カーブミラー設置		組合員を交通事故から守り、交通事故の未然防止を目的に市町村に寄贈
		交通安全に対するPR活動		交通安全に対する意識の向上を図るために、交通安全運動期間にあわせ、新聞広告を行う
	文化・スポーツ活動	JA共済カップミニバスケットボール大会(協賛)	小学生	スポーツを通じて心と体の育成を図るとともに、JA共済をより広く知ってもらうよう認知度の向上を図る
		郡市町対抗駅伝競走大会(協賛)		スポーツを通じて心と体の育成を図るとともに、JA共済をより広く知ってもらうよう認知度の向上を図る
	役職員の地域貢献活動	環境保全活動		使用済切手、ペットボトルのキャップを回収し、関係機関へ送付
清掃活動			県本部周辺の清掃活動を実施	
群馬	文化・スポーツ活動	JA共済カップミニバスケットボール大会(特別協賛)	小学生	スポーツを通じて心と体の育成を図るとともに、JA共済をより広く知ってもらうよう認知度の向上を図る
	交通事故対策活動	新入学児童への交通安全資材の配布	新入学児童	交通事故の未然防止・交通安全思想の普及・徹底を図るため、交通安全ランドセルカバー・腕章・手提げ袋を配布
		交通安全教室	組合員・幼稚園児・小学生	(社)群馬県農協対協と連携し、所轄警察署および交通安全協会に開催を依頼
	役職員の地域貢献活動	交通事故対策活動		収穫感謝祭で来場者に対し交通遺児への募金を呼びかけた。また、同時期に事務所内でも募金を呼びかけ、集まった募金を関係機関に寄付
		環境保全活動		環境保全活動の一環として、公園内の花壇作りと、秋の清掃活動を実施
環境保全活動			ペットボトルのキャップ、使用済切手、ベルマークを回収・収集し関係機関へ送付	
埼玉	交通事故対策活動	交通安全チャリティ募金活動	地域住民	交通安全に伴う意識の向上を図ることを目的とし交通安全サマーフェスティバルを開催し、交通安全募金を併せて実施
	役職員の地域貢献活動	清掃活動		県本部周辺の清掃活動を実施
		環境保全活動		ペットボトルのキャップを回収し、関係機関に送付
	その他の活動		組合員	明治神宮新嘗祭に参加し、農産物を奉納
千葉	健康管理・増進活動	人間ドック 動脈硬化症ドック助成	長期共済5,000万円以上の加入世帯で35歳以上の方	生活習慣病の予防早期発見に努めるため、厚生連で実施する1日コースに対し助成
		集団健診活動実施助成		厚生連が幹旋した施設で実施。健康管理活動の健全な発展に資するために交付
		健康管理集会開催助成		健康管理に対する認識を高めるため、医師等による講演会または一般健康管理に関する集会を開催
	交通事故対策活動	交通安全運動		①千葉県・千葉県警察本部等と連携を図り「春・秋全国一斉交通安全運動」「夏・冬交通安全運動」「JA共済全国一斉交通安全運動」へ参加 ②千葉県が主催する「黄色いリボン」貼付運動に(交通事故防止を願うことを目的)参加
		こども自転車大会	小学生	交通安全こども自転車千葉県大会を後援
役職員の地域貢献活動	交通事故対策活動		9月20日から10月18日まで交通遺児育英資金募金活動を実施。最終日には県下主要JR駅構内において、JA・千葉県等協力団体と街頭募金を実施	

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
千葉	役職員の地域貢献活動	環境保全活動		ペットボトルのキャップを回収し、関係機関に送付
東京	文化・スポーツ活動	JA東京カップ東京都5年生サッカー大会	小学5年生	サッカー大会の実施(東京都少年サッカー連盟および(公財)東京都サッカー協会と共催)
	役職員の地域貢献活動	その他		救急救命措置ができるように全役職員が講習会を受講
神奈川	健康管理・増進活動	健康管理活動	組合員および共済契約者	生活習慣病と各種疾患の原因を発見するため、「人間ドック」「生活習慣病検診」を厚生連と連携して実施
		保養健診活動	組合員および共済契約者ならびにその家族	健康診断および集団保養の機会を提供し、福祉活動の向上に寄与
			保養施設利用	組合員および共済契約者ならびにその家族
	交通事故対策活動	交通安全啓発活動	地域住民	県・県警へ交通安全対策啓発資材を寄贈
	文化・スポーツ活動	小学生バレーボール大会(協賛)	小学生	次世代層および地域住民とのつながりの充実・強化ならびにJA共済のイメージアップを図ることに、JAの推進活動を支援する
		JA共済小・中・高校生書道コンクール	小学生・中学生・高校生	相互扶助・思いやりの精神を伝えていくとともに児童・生徒の書写教育に貢献することを目的として実施
	役職員の地域貢献活動	環境保全活動		ペットボトルのキャップを回収し、関係機関に送付
		清掃活動		県本部周辺の清掃活動を実施
		交通安全啓発活動		バレーボール大会で来場者に対し交通安全資材を配布するなど交通安全啓発活動を実施
		その他		認知症への理解を深めるために認知症サポーター養成講座を受講 JAグループ実施の献血活動に参加
交通事故対策活動	交通安全教室	組合管内の保育園・幼稚園および小学校等	「交通安全教室」を開催	
	新入学児童交通安全キャンペーン	新入学児童	県下の新入学児童を対象に交通安全クリアファイルを配布	
山梨	文化・スポーツ活動	少年野球大会(協賛)	小学生	スポーツを通じて心と体の育成を図るとともに、JA共済をより広く知ってもらうよう認知度の向上を図る
	役職員の地域貢献活動	交通安全啓発活動		県に交通安全啓発用「花の種」を寄贈。駅前にて街頭キャンペーンを展開し交通安全を呼びかける(市・警察・テレビ局との協賛)
		環境保全活動		ペットボトルのキャップを回収し、関係機関に送付
		交通安全啓発活動		街頭で交通安全指導を実施
長野	交通事故対策活動	交通安全教室等	地域住民	フードバンクへ遊休品の寄付(年2回)
				献血活動を実施
交通事故対策活動	交通安全教室等	地域住民	交通事故の防止および交通安全思想の啓発を図るためのJA共済交通安全教室等の開催を支援	

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
長野	役職員の地域貢献活動	清掃活動		県本部から長野駅まで歩道の清掃を実施
		その他		収穫支援、出荷支援、販売支援等JA事業・イベントの協力・参加による地域貢献活動
新潟	健康管理・増進活動	健康教室	組合員で40歳以上の方	健康教室を通じて健康診断・食生活指導を実施
		健康管理・増進活動助成		JAが実施する「人間ドック、脳ドック、集団検診、健康教室、健康・介護教室、軽スポーツ」への助成
	役職員の地域貢献活動	環境保全活動		NPO法人「湯沢みどりの会」主催のぶな植樹会に参加、また、森林整備活動に参加
		清掃活動		「ばい捨てやめようキャンペーン」へ参加し、清掃活動を実施、また、海岸の清掃活動を実施
富山	交通事故対策活動	カープミラー設置		組合員を交通事故から守り、交通事故の未然防止を目的に市町村に寄贈
		新入学児童交通安全キャンペーン	新入学児童	県下の新入学児童を対象に交通安全ファイルを配布
		交通安全運動	地域住民	秋の交通安全運動に併せて、JAへ交通安全啓蒙資材(交通安全のぼり旗・風船等)を配布
	健康管理・増進活動	健康管理活動	共済契約者およびその家族	健康を守り疾病の予防と早期発見に寄与するため、JAが実施する人間ドックに対し助成
役職員の地域貢献活動	みんなできれいにせんまいけ大作戦	県本部職員	海岸清掃活動に参加	
石川	健康管理・増進活動	いきいき健康増進活動	共済契約者およびその家族で60歳以上の方	高齢期の健康管理について認識を深めるため、「ホテル翠湖」にて健康教室・交通安全教室・軽スポーツ・体験農園等を実施
	交通事故対策活動	交通遺児援助		健全な育成を願い援助活動を実施
	役職員の地域貢献活動	クリーンビーチいしかわ	県本部職員	海岸清掃活動に参加
		交通事故対策活動		職員、関係団体、保養施設利用者等に呼びかけ募金活動を実施、交通事故被害者支援団体へ寄贈
福井	健康管理・増進活動	ふれあい健康教室	組合員および地域住民	健康管理を促進するため、1泊2日で開催
		人間ドック経費助成	JA組合長より申請のあった方	厚生連の定める要領にて「人間ドック」を受診
	役職員の地域貢献活動	交通安全啓発活動		年末年始に街頭で、資材等を配布し、飲酒運転撲滅を呼びかける活動を実施
		その他		献血活動を実施
その他の活動	青少年育成活動にかかる助成	青少年育成活動参加者	県下JAが実施する青少年育成活動に対する助成金の支出	
岐阜	交通事故対策活動	こども新聞(岐阜新聞)への交通安全広告掲載		全国秋の交通安全運動に併せ、新聞記載によりJA共済の交通安全活動を幅広く告知し、交通安全を呼びかける
	役職員の地域貢献活動	JA共済交通安全チャリティ募金活動		JA農業祭などで募金活動を行うと同時に交通安全を呼びかけた。また、募金箱設置による募金活動も行い、岐阜県交通遺児激励金に寄贈

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
静岡	健康管理・増進活動	人間ドック	生命系長期共済3,000万円以上の加入者	共済加入者の健康管理のため、厚生連が運営する「健康管理センター」等にて人間ドックを実施したJAに助成する
	交通事故対策活動	カープミラーの寄贈	静岡県	地域住民の交通安全に寄与する
		交通安全啓発活動	地域住民	交通安全ポスター金賞作品を掲載したエコーはがきを発売するとともに、エコーはがきを活用した啓発活動を実施する
	文化・スポーツ活動	静岡県少年軟式野球大会への特別協賛	県内学童のクラブチーム	少年軟式野球大会を通じて、児童の健全な心身の育成と体力の増進を図る
役職員の地域貢献活動	清掃活動		県本部周辺の清掃活動を実施	
	交通事故対策活動		厚生連病院で実施する病院祭で、介助犬デモンストレーションを行う際に県本部職員が介助犬パンフレットを配布し、募金を呼びかける	
愛知	健康管理・増進活動	健康管理集団保養	組合員とその家族	健康管理指導および保養活動を「グリーンホテル三ヶ根」で開催し、健康講話、健康相談、血圧測定、骨粗しょう症検査等を実施
	交通事故対策活動	母と子の交通安全教室	保育園児、幼稚園児およびその保護者と子供会	交通安全教室を開催
	役職員の地域貢献活動	交通安全啓発活動		「年末交通安全県民運動」へ参加し、駅周辺で交通安全を呼びかけた
		環境保全活動		三ヶ根山付近のあじさいの剪定・清掃活動を実施
清掃活動			愛知こどもの国での清掃活動を実施	
その他の活動	その他		AED応急法講習受講	
三重	交通事故対策活動	交通安全啓発活動	地域住民	県警等公共団体への交通安全対策用品の寄贈
	文化・スポーツ活動	JA共済カップ三重県少年サッカー大会(U-11)	小学校5年生以下	サッカーを通して、次世代を担う少年達の健全な心と体の育成を図る
		三重県家庭婦人バレーボール大会	地域住民	県内の家庭婦人バレーボールチームが参加する大会に協賛
	役職員の地域貢献活動	伊勢湾森・川・海のクリーンアップ大作戦	県本部職員	県の海岸清掃活動に参加
その他の活動	子育て応援わくわくフェスタへの参加	地域住民	三重県主催の子育て応援 わくわくフェスタへ参加し、資材を配布、JA共済の認知度の向上を図る	
滋賀	交通事故対策活動	交通安全運動	地域住民	春と秋の交通安全運動にて交通安全ノベルティの配布およびラジオにて交通安全CMを放送
		交通安全運動	地域住民	県内三大花火大会にて交通安全標語入りうちわの配布およびラジオにて交通安全CMを放送
	役職員の地域貢献活動	交通安全啓発活動		春・秋の交通安全運動の際に交通安全啓発のための資材等を配布し通行者に対し交通安全を呼びかけた
		清掃活動		大津地区環境美化運動に参加し、清掃活動を実施、また、県本部周辺の清掃活動を実施
環境保全活動		ペットボトルのキャップを回収し、関係機関に送付		
京都	文化・スポーツ活動	JA共済京都ジュニアサッカーリーグU-11への協賛	小学校5年生以下で京都府サッカースポーツ少年団連盟所属チームの選手	サッカーを通じて少年少女の健全育成および地域社会とのつながりの強化を図るとともに、JA共済の認知度向上を図る

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
京都	文化・スポーツ活動	JA共済カップ京都招待少年サッカー大会への協賛	小学校5年生以下で京都府サッカースポーツ少年団連盟の地区別選抜チームの選手または、他都府県からの招待チームの選手	サッカーを通じて少年少女の健全育成および地域社会とのつながりの強化を図るとともに、JA共済の認知度向上を図る
		絵本(ちいさなこうさてん)の寄贈	京都府内図書館・病院・京都市内保育園	幼児・園児の交通事故防止を目的としてシナリオコンテストの大賞作品を絵本にして寄贈
	交通事故対策活動	アンパンマン交通安全POP人形の寄贈	JA	こどもの交通安全意識を高めることを目的として寄贈
		ラッピング電車の運行		「交通安全啓発標語」を掲出した地下鉄車両の運行による交通安全意識の啓発
	役職員の地域貢献活動	清掃活動		京都市主催の「まち美化運動」に参加し清掃活動を実施
その他の活動	長寿記念品	組合員とその家族で米寿および白寿を迎える方	「敬老の日」に長寿のお祝いメッセージと記念品を贈呈	
大阪	健康管理・増進活動	生活習慣病巡回健康診断	組合員・生命共済契約関係者	検診専門機関による外部委託体制の巡回健康診断を実施し、健康管理および疾病の早期発見・早期治療に寄与
		生活習慣病検診の事後保健指導	有所見者	保健指導
		人間ドックによる健康診断	組合員・生命共済契約関係者	巡回健康診断の補完として人間ドックを実施
	交通事故対策活動	交通安全キャンペーン		交通安全運動期間にスローガンを使用し、交通安全意識の啓発と交通事故防止の徹底を図るため、総務省・大阪府交通対策協議会・大阪府警察本部が実施する年間キャンペーンに呼応して展開
役職員の地域貢献活動	清掃活動		府本部周辺の清掃活動の実施	
	その他		納涼盆踊り大会への参加(江戸堀連合町会行事)	
兵庫	健康管理・増進活動	高齢者介護技術研修会	JA女性会会員・登録ヘルパー等	家庭内における身近な介護技術を習得
		「あさぎり荘」利用割引	組合員	保養施設「あさぎり荘」の幅広い利用を促進
	交通事故対策活動	子ども向け交通安全啓蒙活動	県内幼稚園・保育所	県内幼稚園・保育所を訪問し、JA職員と児童がふれあいながら交通安全を学ぶ番組「交通ルールをまもりまっぴょん」を制作・放送。その番組で流れている交通安全ソング&ダンスのDVDはJAイベント等で交通安全資材として配布
		交通安全1日イベント		兵庫県警察および交通安全協会とともに交通安全啓発活動を実施
	役職員の地域貢献活動	JA共済ふるさと森づくり	組合員および地域住民	県内7か所の植樹が終了し、平成22年度からNPO団体等への苗木贈呈により、民間または個人による植樹活動を展開し、「森づくり」のさらなる広がりを図る
	その他の活動	農協共済物故者慰霊祭		不幸にしてお亡くなりになられた物故者の霊を慰めることを趣旨として実施
	奈良	交通事故対策活動	アンパンマン交通安全ぬりえの配布	県内幼児・園児
役職員の地域貢献活動		交通安全啓発活動		「めざせ200日!!無事故・無違反チャレンジ活動」へ全職員が参加し、相互に無事故無違反を競い合いながら交通安全への意識を高める

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
和歌山	健康管理・増進活動	健康診断(基本健診)	組合員および地域住民	疾病の予防と早期発見に寄与するため実施
		がん検診	組合員および地域住民	早期発見・早期治療によりがんの予防
		骨密度測定・動脈硬化測定	組合員および地域住民	骨粗しょう症予防と動脈硬化予防についての理解を広めるため、イベント等で「骨密度測定」・「動脈硬化測定」を実施
		健康教室	組合員・地域住民	健康診断後の事後指導および講話、生活習慣病予防教室、健康づくりのための講演を開催
		軽スポーツ活動	JA女性会・助けあい組織等	「クアハウス白浜」を利用し健康増進に取り組む
		「クアハウス白浜」利用割引	共済契約者および組合員とその家族	保養施設「クアハウス白浜」の幅広い利用を促進
	交通事故対策活動	交通安全レインコートの寄贈	県内小学校	子どもを交通事故から守る「学童用交通安全レインコート」の寄贈
		交通安全子供自転車大会への後援実施	交通安全協会	JA共済の認知度の向上を図るとともに、子どもに正しい自転車の乗り方を学んでもらうことによる交通安全意識の向上
	文化・スポーツ活動	学童軟式野球大会実施(協賛)		JA・JA共済の認知度の向上を図るとともに、野球を通じた健全な少年の育成
	役職員の地域貢献活動	環境保全活動		健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりの実現に向け、平成19年度に「JA共済 絆の森」の植樹を行い、植樹後10年間にわたり森林育成活動を実施
鳥取	健康管理・増進活動	胃集団検診	40歳以上の共済加入者(被共済者)等でJAが適当と認めた方	胃病の早期発見・早期治療を促進する
		婦人集団検診	30歳以上の共済加入者(被共済者)等でJAが適当と認めた方	婦人疾病(子宮ガン、乳ガン、甲状腺ガン)の早期発見・早期治療を促進する
		リスター倶楽部(Aコース)	55歳以上のJA組合員・共済加入者およびその家族で、保養生活に耐えられるものでJAが適当と認めた方	2泊3日の集団生活を通じてストレスの解消とレクリエーションを楽しみながら老後の健康管理を促進する
	リスター倶楽部(Bコース)		1泊2日の集団生活を通じて親睦と健康増進を図る	
	ミセス倶楽部	JA女性会役員・会員	生活保障設計に関する意識向上と、地域婦人の健康管理活動として軽スポーツの普及を図る	
	交通事故対策活動	交通安全教室等	組合員および地域住民	交通事故防止活動につながるイベント、交通安全教室などを実施
黄色い手帳運動・キャンペーン協賛		新入学児童	交通事故傷害共済付の「黄色い手帳」を配布	
文化・スポーツ活動	JA共済むてきカップ学童軟式野球鳥取県大会	県内小学生	次世代を担う学童の健全な心身の育成を図る	
役職員の地域貢献活動	清掃活動		東郷湖周辺の清掃活動を実施	
島根	健康管理・増進活動	健康管理活動	組合員・共済契約者およびその家族・地域住民	生活習慣病検診・腹部超音波検診または、巡回人間ドックを実施
		JA共済ふれあいの集い	共済契約者およびその家族	「ホテル玉泉」宿泊などによる福祉サービス活動を実施

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
島根	健康管理・増進活動	JA共済保養施設利用割引	組合員・共済契約者およびその家族	利用割引によりJA共済保養施設の利用を促進
	交通事故対策活動	黄色い手帳運動・キャンペーン協賛	新入学児童	交通事故傷害共済付の「黄色い手帳」を配布
		中学生への夜光反射材の寄贈	各中学校	「夜光反射たすき」または「サイクルヒット」を寄贈
		カーブミラーの寄贈	各市町村	各JAを通じてカーブミラーを寄贈
		交通安全啓発活動		県本部内設置の「交通事故相談所」にて事故相談を実施
		交通遺児育英奨学金	交通遺児(高校生)	奨学金を支給
		夜光反射材の寄贈	県警察本部	秋の全国交通安全運動に呼応して、夜光反射材を寄贈
		交通事故被害者支援募金	交通事故被害者	県内JAグループに呼びかけて実施
		集金袋の寄贈	各小学校	各JAを通じて寄贈
	文化・スポーツ活動	JAカップ学童野球大会		次代を担う学童が野球を通して、健全な心身の育成と正しい社会マナーを身につけることを願うとともに、地域スポーツの発展に貢献することを目的として開催
役職員の地域貢献活動	交通安全啓発活動	地域住民	春・秋の全国交通安全運動期間中に、警察署と連携して街頭にて啓発活動を実施(チラシ・夜光反射材を配布)	
	交通事故対策活動		JAくまびぎと連携しカーブミラーの清掃活動に参加	
岡山	健康管理・増進活動	健康増進活動助成	共済契約者・被共済者およびその家族	健康維持・増進を図り、事故防止の補完的役割をはたすため「健診助成」を実施
	交通事故対策活動	交通安全教室	保育園児・幼稚園児、小学生およびその保護者等	子どもへの交通安全教育の徹底と、正しい交通ルールとマナーを学ぶ
		交通安全機材の寄贈	県下市町村	交通事故の未然防止のため、カーブミラー、夜行たすき等寄贈
		交通安全チャリティー募金活動	JAグループ	交通安全の意識高揚を図る。岡山県交通遺児就学援助金へ寄付
		夜光反射材の寄贈	県と市町村	秋の全国交通安全運動に呼応して、夜光反射ステッカーを寄贈
	役職員の地域貢献活動	清掃活動	県本部職員	地元のサッカーチームと協力し、清掃活動を実施
		交通安全啓発活動		kankoスタジアム前広場特設テントで交通安全資材を配布し来場者に交通安全を呼びかけた
広島	健康管理・増進活動	体力測定の実施	地域住民	JAまつり等で「体力測定ブース」を設け、握力、立位体前屈、肺活量、体脂肪率、血圧などを測定する
		健康管理・増進活動助成	共済契約者および組合員とその家族	JAが実施する「乳がん」「子宮がん」検診への助成を行う
	交通事故対策活動	交通安全教室助成	保育園・幼稚園の園児、および小学生の児童、高齢者等	JAが主催する交通安全教室への助成を行う
		交通安全教育用機器・資材等の作成提供等	地域住民等	県警および交通安全協会等と連携をとり交通安全啓発に必要な資・機材の作成提供等を行う
	環境保全活動	飲料水の水質検査	共済加入者世帯	井戸水等の安全を確認するため、(財)広島県環境保健協会に検査を委託し、10項目の検査を実施
	役職員の地域貢献活動	環境保全活動		ペットボトルのキャップ、使用済切手を回収し、関係機関に送付

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
広島	役職員の地域貢献活動	清掃活動		県本部～中央公園までの歩道の清掃活動
山口	健康管理・増進活動	ふれあい講座	中高年者、JA女性部員	外部講師による講演を実施。いきがいをもち、健康維持管理に対する認識を高めることを目的に開催
	交通事故対策活動	親と子の交通安全教室	幼稚園・保育園の園児および保護者	山口県警察本部と連携して開催。園児とその保護者とともに正しい交通ルールとマナーを学ぶ
	役職員の地域貢献活動	交通安全啓発活動		県本部周辺で交通立哨を定期的実施
		清掃活動		県本部周辺の清掃活動および自治体等実施の清掃活動に参加
徳島	健康管理・増進活動	女性のつどい	JA女性部員	外部講師による講演、気功、ガーデニング等を実施
	交通事故対策活動	交通事故相談		交通事故の相談に応じ、適正な解決ができるよう公正・親切な助言を与え、組合員の利便を図る
		交通安全教室	幼稚園園児およびその保護者	地域社会における交通安全意識を高め、事故防止につとめるため開催
	役職員の地域貢献活動	清掃活動		県主催のアドプトプログラム「徳島県OURロードアドプト事業」に参画し、清掃活動を実施
香川	交通事故対策活動	交通安全対策器材(反射たすき、反射シール、サイクルピアス)の寄贈	地域住民	高齢者の夜間交通事故の減少を目的に交通安全協会へ寄贈。県内各地区の交通安全協会を通じて、高齢者に配布を行う
		「孫の手作戦」の実施支援(反射シール・反射リストバンド・メッセージカード・封筒の寄贈)	地域住民	交通事故の減少を目的に香川県警へ寄贈。香川県警を通じて小学生へ資材を配布し、小学生の自筆によるメッセージを添えて高齢者に配布することで、両者の交通安全意識の啓発を図る
	文化・スポーツ活動	香川県ジュニアサッカーリーグ戦への特別協賛	小学生	こどもの心身の健全な育成を図る
愛媛	役職員の地域貢献活動	アンパンマンミュージカル	小学校低学年(8才)以下のお子様とその家族	こどもの健全な育成を図る
		「フォレストマッチング協働の森づくり事業」への参加(「JA共済連香川の森」づくり)		協定森林「JA共済連香川の森」において枝打や除間伐等の森づくり活動を行い、森林の環境保全に貢献する
	健康管理・増進活動 地域貢献活動	ピンクリボン活動	県本部職員等	社会貢献活動の一環として、乳がんへの正しい知識の普及、早期発見・早期治療の重要性を幅広く推進するため、ピンクリボンパッチを共済連職員、JA役員、LA、スマサボなど共済関係部署に配布
	交通事故対策活動	親子交通ふれあいフェア	地域住民	親子交通安全ふれあいフェアにてブースを設けて、交通事故防止、地震、津波に関する冊子を配布
JA共済交通遺児育英募金		交通遺児	交通遺児育英募金運動を実施	
高知	役職員の地域貢献活動	清掃活動		毎週火曜日の早朝に、県本部周辺やアーケードの清掃活動を実施
	健康管理・増進活動	健康管理活動	共済契約者およびその家族	健康管理・健康維持増進を目的とし、人間ドックを受診
		交通事故対策活動	交通安全傘の寄贈	県内小学生
	役職員の地域貢献活動	清掃活動		市街地や海岸の清掃活動に参加
		清掃活動		コスモ石油、FM高知主催「コスモアースコンシャスアクト クリーン・キャンペーンin香南」に参加し、清掃活動を実施、また、県本部周辺の清掃活動を実施
環境保全活動	環境保全活動		ペットボトルのキャップを回収し、関係団体に送付	

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
福岡	健康管理・増進活動	大腸がん検診	組合員ならびにその家族および加入者	各種疾病の予防対策として、早期発見・早期治療を促進
		骨粗しょう症検診		
		腹部超音波検診		
		介護研修会		介護技術の習得を支援
	交通事故対策活動	交通安全教室	幼稚園児およびその保護者・老人	交通事故の防止および交通安全思想の啓発を図る
		交通安全啓発活動	地域住民	交通安全県民運動期間にラジオにて、地域社会に交通安全意識の向上を図る
		看板設置	地域住民	交通事故防止と交通安全思想の啓発を図る
		交通安全資材の寄贈	地域住民	交通安全啓発の資材を、JAを通じ配布し、交通事故防止を図る
	文化・スポーツ活動	第48回「JA共済」小・中学生作文コンクール	小学生・中学生	次世代を担う後継者の健全な育成と地域社会の発展を目的に、児童・生徒の創造力を豊かにし、情操教育の一助とする
	役職員の地域貢献活動	環境保全活動		ペットボトルのキャップ、使用済切手を回収し、関係機関に送付
清掃活動			ラブアース・グリーンアップへ参画し、清掃活動を実施、また、県本部周辺の清掃活動を実施	
交通事故対策活動			交通事故被害者支援募金箱を設置し、集まった募金を交通遺児育英基金へ寄付	
佐賀	健康管理・増進活動	ことぶき会実施 女性学級実施	組合員およびその家族の高齢者	「ホテル春慶屋」にて、心身の健康維持・増進のため、体力テスト・レクリエーション等を実施
	役職員の地域貢献活動	交通安全啓発活動		交通安全県民活動に呼応し街頭で交通安全を呼びかける
長崎	交通事故対策活動	電飾看板設置		交通事故防止と交通安全意識の高揚を図る
		ソーシャルクロック設置		県内各地域にソーシャルクロックを提供
		(財)長崎県育英会への寄附	交通遺児	募金活動を通じて交通事故被害者を支援する
役職員の地域貢献活動	清掃活動		長崎市平和公園において清掃活動を実施	
熊本	交通事故対策活動	交通事故防止反射バンドの配布	地域住民	夜間の歩行者の交通事故防止を目的に作成し、熊本県警察本部に寄贈。各警察署を通じて、主に県内の高齢者や小中学生に配布
		くまモン首掛けLEDライト寄贈	地域住民	夜間・早朝の歩行者の交通事故防止を目的に作成し、熊本県交通安全協会へ寄贈。交通安全協会を通じて、主に県内の高齢者や小中学生に配布
	役職員の地域貢献活動	清掃活動		熊本城周辺の清掃活動を実施
	文化・スポーツ活動	少年軟式野球・サッカー大会	小学生	JAの主催大会に対する助成
大分	交通事故対策活動	新入学児童交通安全キャンペーン協賛	新入学児童	交通事故傷害共済付「よい子の交通安全手帳」への協賛
		交通安全資材の寄贈	各団体	交通安全啓発活動の一環として県警を通じ各団体へ交通安全資材を寄贈
	役職員の地域貢献活動	交通安全啓発活動		全国交通安全運動に呼応し街頭で安全運転の呼びかけ
		清掃活動		県本部周辺の清掃活動を実施
その他			大分国際車いすマラソン大会で運営ボランティアを実施	

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
大分	文化・スポーツ活動	大分県小学生ドッジボール大会への特別協賛	小学生	次世代を担うこどもの健全な心身の育成を図る
宮崎	健康管理・増進活動	集団検診等	共済契約者およびその家族	潜在的疾患の早期発見・早期治療を促進するため、各種検診を実施
		「青島サンクマール」宿泊利用助成	共済契約者およびその家族	健康増進等のため宿泊
	交通事故対策活動	交通安全資材の寄贈	各団体	交通安全の為に資材を配り、交通事故の防止を図る
		高齢者交通安全教室への助成	高齢者	JA主催の高齢者交通安全教室に対する助成を実施
		ソーシャルクロック補改修・点検整備助成		ソーシャルクロックの補改修および点検整備をした場合に助成
	文化・スポーツ活動	中学校バレーボール選抜大会	中学生	バレーボール大会を実施
		少年サッカー大会	小学生	サッカー大会を実施
	役職員の地域貢献活動	交通指導	小・中学生	登校時の交通防止のため、JAビル周辺で交通指導を実施
		交通安全啓発活動		県本部近隣交差点での登校時の交通指導
		環境保全活動		書き損じはがき収集による募金活動
鹿児島	健康管理・増進活動	地域スポーツ活動・次世代向けイベント実施助成	組合員・地域住民	JAが自主的に開催するスポーツ活動および次世代向けイベント開催の支援
		巡回健診・人間ドック受診助成	共済契約者	共済契約者の健康保持・増進を促進するため、健診受診者に対し受診料の一部助成を実施
	交通事故対策活動	JA共済交通安全教室	地域の主婦・子ども・高齢者	地域社会における交通事故防止と交通安全意識の高揚を図るため、関係機関と連携し交通安全教室を実施
		交通安全資材の寄贈	各団体	県警を通じ各団体へ交通安全啓発資材を寄贈し、交通事故防止を図る
文化・スポーツ活動	いぶすき菜の花マラソン		地域住民をはじめ、参加者の健康維持・増進を図るため、大会に協賛	
	JA共済カップ県レディース秋季卓球大会	鹿児島県卓球連盟に所属している既婚者および30歳以上の女性	卓球連盟と連携し、JA共済連主催の卓球大会を実施	
	鹿児島マスターズ陸上競技選手権	マスターズ・小学生	地域住民の健康維持・増進を図るため、大会に協賛	
	役職員の地域貢献活動	交通安全啓発活動		春・秋の全国交通安全運動期間中を中心に、警察署の実施するキャンペーンに対し、チラシ・ノベルティを提供するとともに人的協力を行い、街頭で安全運転を呼びかける
環境保全活動			書き損じはがき収集による募金活動	
環境保全活動			ペットボトルのキャップを回収し、関係機関に送付	
清掃活動			県本部周辺の清掃活動の実施	
沖縄	健康管理・増進活動	検診助成	組合員およびその家族	組合員およびその家族が、沖縄県総合保険協会または県本部が認めた検診機関が実施する一般検診を受診
	文化・スポーツ活動	ボーリング大会	JA女性部員	JA女性部を対象に健康の維持・増進を図る
		沖縄県ジュニアサッカー中央大会	小学生	次世代を担う小学生のスポーツ環境づくりと健全育成を促進
	役職員の地域貢献活動	清掃活動		県本部周辺の清掃活動の実施